

愛媛新聞(12月22日)に掲載されました。

**松山赤十字病院  
照らすモミの木**

聖カタリナ学園寄贈



十字病院は、地域医療に貢献する看護人材の育成を目的に協定を結んでいる。聖カタリナ大看護学科の学生の病院実習受け入れなどへの感謝を込めて寄贈した。

モミの木は約3mで、樹種はウラジロモミ。九州地方で1年間育てており、暑さにも耐えられるという。21日に中田婦美子理事長らが同病院を訪れ、西崎隆院長に目録などを手渡した。

聖カタリナ大のホビン・サンミゲル学長は「緑は患者のために大切。見てストレスを和らげ、精神的に良い気持ちになってほしい」と願った。西崎院長は「今後、後にも良い関係で看護師教育に携わりたい」と感謝した。

松山赤十字病院は、2014年から病棟など新病院の整備を進めてきた。25日にグランドオープンする。

(杉本賢司)

聖カタリナ学園が松山赤十字病院に寄贈したモミの木  
21日夕方、松山市文京町

掲載許可番号：d20230123-01